

## 安佐北区可部東 6 丁目周辺（溪流番号 I-1-9-1154） 現地調査報告

1. 調査目的
  - ・ 土砂が流出した溪流について、21 日からの降雨を踏まえテックフォース隊等による点検活動に資する溪流事態等の情報を得るため。
2. 調査日
  - ・ 平成 26 年 8 月 22 日（金）14 時 00 分から 15 時 30 分
3. 調査場所
  - ・ 広島市安佐北区可部東 6 丁目周辺（溪流番号 I-1-9-1154 周辺、溪流番号 I-1-9-1154 は溪流出口から 200m 程度踏査）
  - ・ 溪流番号 I-1-9-1154 周辺から溪流番号 I-1-9-1149 にかけてヘリ調査を実施。
4. 調査者
  - ・ 国土技術政策総合研究所土砂災害研究部 蒲原潤一砂防研究室長、松下一樹土砂災害研究室主任研究官
5. 調査概要
  - ・ 溪流番号 I-1-9-1154 の最上流部は 33° 程度あり、下流溪床部は鋭角の V 字状に 7m 程度低下している。侵食後の溪岸は急勾配で間隙も多く不安定であり、流路は長くはないが溪岸部の崩落状況など経過を見ていく必要があると思われる。下流の流路部分は 10° から 15° 程度の勾配となっており、溪床は 2m 程度低下している。溪床の低下に伴い地山の堆積物が露出しているが 1m 程度の角ばった石礫と細粒の土砂で構成されている。
  - ・ 流路付近は堆積物が流出して一部に基岩が露出している。10° 程度に緩やかになった区間から、土砂堆積に伴ない流路が左右に振られるとともに流木が流出し溪床が 30m 程度に広がっている。
  - ・ 1m 程度の石礫についても住宅地への流出が見られる。道路部や農地に流出した土砂は細粒分が主で、現地調査時点では、かなりぬかるんでおり歩行が困難な状況。
  - ・ 溪流番号 I-1-9-1154 周辺及びヘリ調査で確認できた範囲において小規模な天然ダム等の異常堆積は無い。溪流番号 I-1-9-1154 周辺の溪流が集中して流下する下流部は、流出した土砂により流路下流の橋梁部で閉塞している。橋梁上流部では流路

が埋塞し流路周辺に位置する家屋との比高差が小さくなっている。

- なお、溪流番号 I-1-9-1154 周辺から溪流番号 I-1-9-1149 にかけて、被災している周辺についてヘリ調査を実施した。天然ダム等の異常な堆積は見受けられなかった。また、大規模な拡大崩壊等の恐れがあるような変状は見受けられなかった。

【調査写真】



写真1 溪岸に残存している不安定な土砂の状況



写真2 勾配の変化と土砂の堆積状況



写真3 表層が流出し流路が広がった状況



写真4 家屋の被災状況



写真5 道路への土砂流出状況



写真6 農地への土砂流出と流路の埋塞状況



写真7 橋梁の閉塞と流水の流下状況



写真8 流路の埋塞状況



写真9 (溪流番号 I-1-9-1155)



写真10 (溪流番号 I-1-9-1154 周辺)



写真11 (溪流番号 I-1-9-1149)